

合連盟だより

第 17 号

平成13年3月1日

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務局 〒410-0822 沼津市下香貫西村1455-1 TEL (0559) 31-4303 山本恒子

功勞賞受賞に思う

会長 中西 満子

理事長
望月富子

半世紀以上、バレーボールに親しみ、その中で多くの方々との出会いがあり和が生まれ、数々の体験の中で、少なからず一家庭の主婦としては味わうことのできない輪の中に仲間入りさせて頂き、その幸せを心から味わわせていただいている昨今です。多くの役員の方々や、チームの協力があつて今日の私があるのだと思いながらリーダーとしての責任を果たす努力だけは一生懸命して参りました。

そ、充実した運営ができ、私の場合、その結果が今回の受賞に結びつけさせて頂けたのだと感謝の念で一杯です。県協会の諸先生方、協賛各社のご指導、ご支援に対しきりでも、心よりお礼を申し上げます。

昨年十月六日に、約百四十名の人々が参考集下さり、受賞を祝う会を催して頂き、その盛会の中で感じましたことは、私の受賞というより、当連盟に与えて下さった賞であることを実感として味わわせて頂きま

生き物が脱皮をするよう、新世紀もまた、喜びや悲しみの歴史を包み込むようにして、二十一世紀へと大きく脱皮を遂げました。

平成十二年度、県家庭婦人バレーボール連盟も、多くの先輩、県協会の皆様、そして力強い協賛社の方々のお力添えを得まして、各大会・行事とも無事に運営することができましたこと、まずもってありがとうございます。

思いがけなく、財日本バレーボール協会の功労表彰のお話がありました時、個人として賞を頂くことにためらいがありました
が、その反面、当連盟の今までの歩みを認めて頂けての喜びも正直のところあり、連盟としての受賞なんだと自分に言い聞かせて、東京へ出向いて受賞させて頂きました。
皆さん方は、チームをまとめる為に多くのご苦労を味わつておられる事と思います。生活環境も、考え方も、体力も違う人々の集まりの中での、ご苦労も並大抵ではないと察します。

振り返って、連盟の中の自分を考えてみますとき、少々の苦労はあつたと思いますが、素晴らしい多くの友人を得て、この財産をいつまでも大切にして行きたいと思うと同時に、この絆を誇りとしてもう少し、当連盟の中で歩ませて頂きたいと思います。皆さん方も、バレー・ボール仲間との出会いを大切に「明るく（家庭）楽しく（チーム）美しく（心身の健康）」の実践と生涯スポーツとして、より以上にバレー・ボールを楽しんでください。

役を受けた以上、それをまとめる苦労こそ、与えられた試練であると自分に言い聞かせ、チームメイトと共に協力し合い、話し合いながら、苦楽を共にして、よいチーム作りへの道を開いてゆく努力をして下さっていること思つております。



新しい世紀を迎え、周りはどんどん変化してきています。私たち連盟も、進む方向をしつかり見定めて、皆様とともにさらに連盟を発展させるべく努力していくたいと思います。ますますのご指導、ご鞭撻を心よりお願いいたします。



第31回 全国家庭婦人バレーボール大会

期日 平成12年7月27日～7月30日
会場 東京体育馆

た家族、役員の方々に感謝します。
けがで多くの方々にご迷惑、ご心配をお掛けしました。気持ち良く送り出してくれた家族に感謝しつつ、涙をこらえて歩いた入場行進。忘れません。ありがとうございました。

H.L. 藤原 明子

“菊川立木大和 悔しい！でも実り多かつた四日間”

監督 藤原 崇子

ことのほか暑かつた今年の夏。全国大会へ出場させていただいて、早いもので、もう半年もたつてしましました。

県大会から二ヶ月近く日数もあつという間に過ぎ、いよいよ当日、楽しかった交歓会、緊張した開会式、思うようにいかない試合運び、四日間という日は夢のようでした。それでも二千年という区切りの年に、あの東京体育館でプレーした幸せは、一生忘れる事はないでしょう。これも偏に皆様方のご尽力の賜と深く感謝しております。この経験を糧に身も心も、もう少し大きくなりたいと願っております。

主将 進士百合子

優勝旗を持つての入場行進は、鳥肌が立つ程緊張しました。一步一步、歩きながら、この日まで道のりを思いだし、涙でかすんで前がよく見えなかつたのを覚えています。

ホイッスルが鳴り、晴れの舞台で自分たちの力を百%出すことの難しさを感じさせられた試合でしたが、終わってみると、あのコートに立てた幸せで、胸がいっぱいになります。

H.L. 藤原 明子

大好きなバレーが能够ることに感謝しこの経験を糧にして、これからも、練習に励みたいと思います。

マネージャー 川中祐三子

交歓会での楽しい一時、試合でのきびしさを改めて感じました。全国大会という一生に一度しか経験できないことに参加できたことに幸福を感じます。

F.L. 川島乃里子

菊川へ引っ越してきて、一年たらずで全国大会へ行けたなんて夢のようでした。慣れない生活で入院もしました。その中で東京まで行ってバレーができたのも、立木の皆様他、周りの方々のおかげです。感謝しています。

F.C. 馬渕 元子

記念すべき二千年の全国大会出場を一つのステップとし、これからも楽しい先輩達と気持ちを一つにして、もつともっと楽しく良い思い出をたくさん創れるようがんばりたい。

F.R. 小川真由美

あれだけの大きな体育館で試合をするのは初めてで、少し緊張した。全国大会だけあって、いろいろな選手を見ることができ、とても良い勉強になりました。

H.R. 新村 昌見

試合には負けてしまいましたが、いろいろな県のバレーを見たりして、大会の雰囲気を楽しめてもらいました。私の留守中八ヶ月の娘を世話をしてくれた主人に感謝、感謝です。

H.R. 新村 昌見

一回戦で負けてしまい、本当にくやしかったです。でも全国大会という大きな大会に出られたことは、とてもいい思い出になりました。

B.C.

山本 千歳

この四日間は、夢のようでした。もっと緊張すると思っていたのに、全然違つて楽しかった日々でした。負けた悔しさはあるけれど、コートの中でもっとも気持ちがよかったです。

B.R. 服部 温子

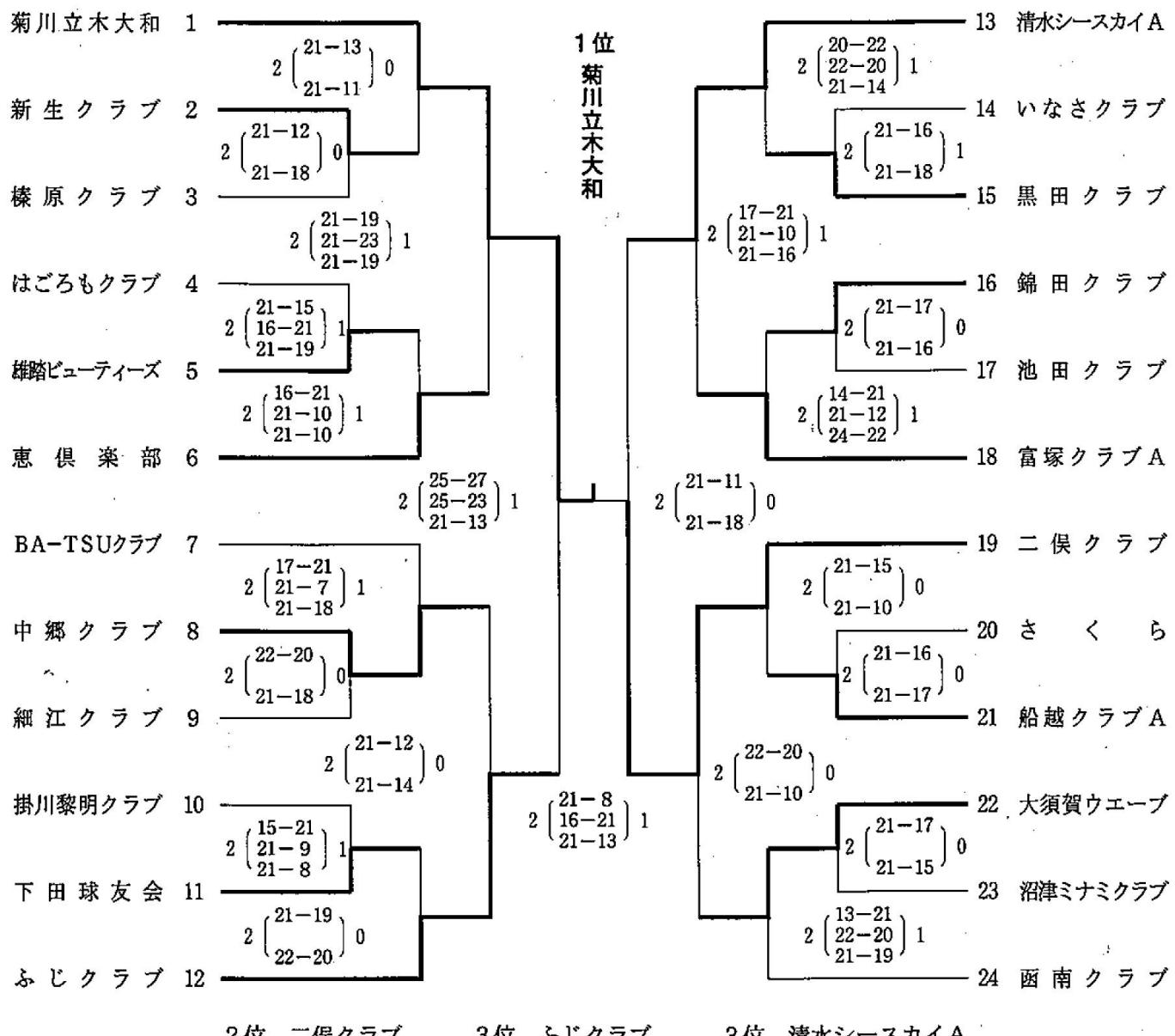
私が感じた全国大会は、感謝、感動、優しさ、協力を肌で感じたことだと思います。家族の協力もあって、四日間も家をあけることができ、良き思い出ができました。

B.R. 平野 恵子

「好きなバレーをやらせてもらつていて」
そんな感謝の気持ちでいっぱいでした。なによりも、心が一つになれたとき、ボールは相手のコトに落ちることを心に刻みました。

第31回 全国家庭婦人バレー大会 静岡県予選大会

期二日 平成12年6月4日
会三場 三草三雄三育三館



● ● ● ● ● ● ● ● 真田杯争奪優勝大会 ● ● ● ● ● ● ● ●

	優 勝	準 優 勝	3 位	3 位
Aグループ	栄 ク ラ ブ	磐田神明クラブ	掛川飛翔クラブ	島田スポーツクラブ
Bグループ	浜松北星クラブ	函南クラブ	富塚クラブA	袋井クラブ
Cグループ	S u p e r N I N E	細江クラブ	大須賀エーブ	BA-TSUクラブ

富士コカ・コラ力・ラ力ツブ

第24回 静岡県家庭婦人バレーボール大会

期日 平成12年9月3日
場所 県営草薙体育館

Aグループ優勝

磐田神明クラブ 主将 中崎恵美子

一本を大切に

昨年、一昨年と決勝戦で苦い思いをして迎えた今大会。『今年こそは』と臨んだ大会でした。奇しくも昨年と同カードの決勝戦。昨年の二の舞いは絶対にしたくないと、皆で練習に取り組み、チーム一丸となって頑張った結果が、初優勝に結びつきました。

総監督はじめ、コーチの熱心な指導、家族の協力、OG。いろいろな応援があつてこそこの優勝です。改めて心より感謝し、お礼申し上げます。そして一緒に喜んで下さった役員の皆様、ありがとうございました。

これからも、驕ることなく、感謝の気持ちを忘れず、常に目標を持ち、『一本』を大切に確実なプレーを心掛け神明クラブのバレーボールを楽しみ続けたいと思います。

Bグループ優勝

曳馬クラブ 主将 横井奈穂子

ウンを味方に

この大会には、曳馬はなかなか出場する事ができずに入った。今年はBグループで再出発のチャンスをいただいた。自分達のペレーレをやれば大丈夫。一人サボるとすべてがくずれる。集中力と修復力。わずかな時間の中で組み立て、また、直す。決勝のために草薙体育館に向かう道中、両手に荷物を持ったわがチームのエース佐竹の喉元に蜂

が襲いかかった。刺すどころか、糞をして飛び去った。勝負は決まつた。ウンをもつて優勝できる

と確信した。馬鹿な話かもしれないが、勝負といふものは、コートの中だけとは限らない。その日、

朝起きてからの行動と周囲との関係や、精神的因素は大いに影響を及ぼす。こんなメンタルトレーニングも山田コーチから指導を受けている。来年はAグループで県大会を目指す。役員の方々、家族に感謝し、すばらしいといわれるチームづくりに励みたい。

Cグループ優勝

Super NINE 主将 花村やよい

初心に返つて

二千年前、チームを起こし、目標に掲げたコカ・コラ杯！ 今年の目標はCグループでの優勝。中部予選から苦戦は覚悟で向かったものの、かなりの暑さで、三試合目の青葉戦はほんとうに苦しめた。冬場の筋肉トレーニングの貯金は真田杯で終わったのか？と思われる体力不足を痛感。県大会では、草薙の体育館という緊張感の中、どこまでやれるか、自分たちを試す絶好の機会をいただき、全員が初心に返つて臨めたように思えます。

去年、全国出場の勢いにのつて、東海へもと意気込んだが、未熟なわがチームを実感させられ、この一年、全員が意欲を持って練習に臨んだ。そして代表権獲得。名古屋へと向かう。

愛知は強いと聞いていたが、会場に着くと、どうも強そうに見えて落ち着かなかつた。でもこれは私だけだった。選手を見ると、皆いつものんきな顔。大丈夫なのかなと思った。

まず一戦と思い戦つた結果、十四年連続優勝の愛知との決勝まで来た。もうここは自分たちのプレーをするだけ。コーチの指示通りシンプルにチームワークを大切にと挑んだ。勝つた。

三島シワーズ 池谷ふみ子

久しぶりに、準決勝、決勝を観戦。閉会式に入り、戦い終えてスカツとした選手達と、歓声にも、キリッと熟女の優しさを持つて、私に微笑みかけてくれた連盟の役員さん達の雰囲気に接して、「我が

バレーボール人生に悔いなし」と感動と歎びをもつて受賞させていただきました。

2000年に特別賞

三島シワーズ 池谷ふみ子

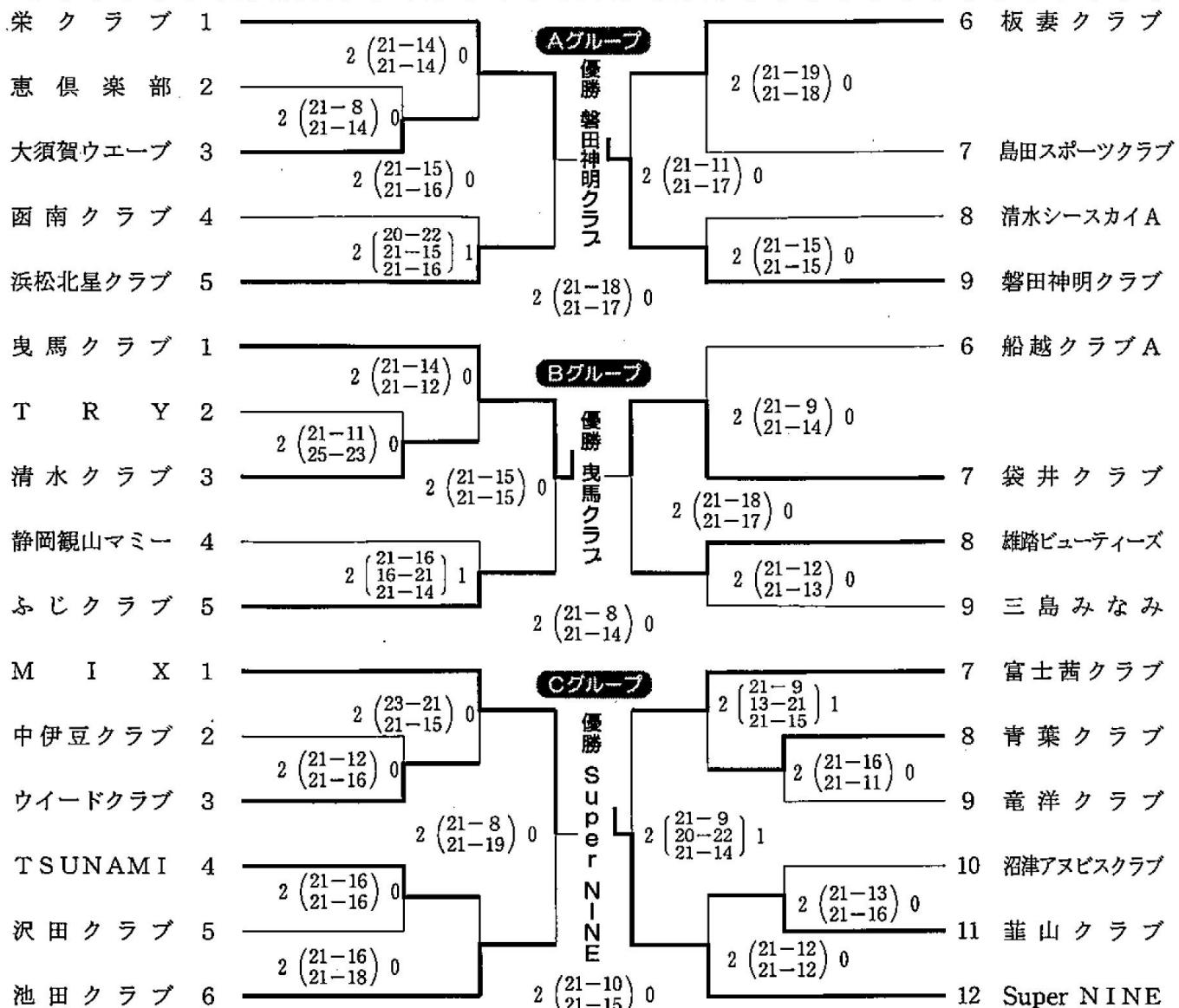
久しぶりに、準決勝、決勝を観戦。閉会式に入り、戦い終えてスカツとした選手達と、歓声にも、キリッと熟女の優しさを持つて、私に微笑みかけてくれた連盟の役員さん達の雰囲気に接して、「我が

バレーボール人生に悔いなし」と感動と歎びをもつて受賞させていただきました。

六十歳、七十歳になつても一人でも多くの人達が楽しめるような、仲間作りに、わたくしたちは、これからも努力して参りたいと思います。それには、連盟の役員の皆様方の並々ならぬご努力と、ご指導を賜つてこそ、叶う願いと痛感いたしております。

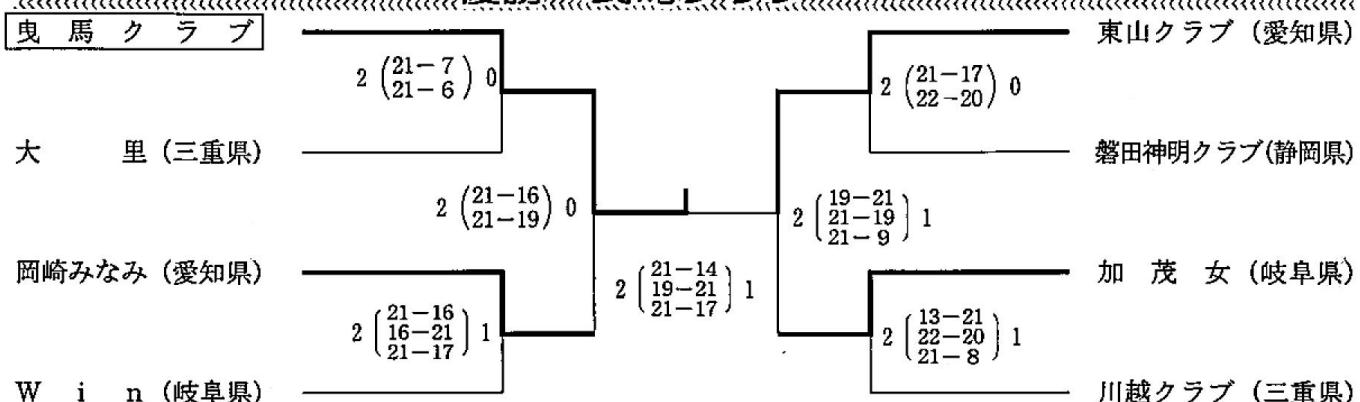
富士コカ・コーラカップ
第24回静岡県家庭婦人バレー ボール大会

期日 平成12年9月3日
会場 草薙体育馆
静岡学園高等学校体育馆



第27回東海家庭婦人バレー ボール大会
優勝 曳馬クラブ

期日 平成12年10月15日
会場 名古屋市中村スポーツセンター



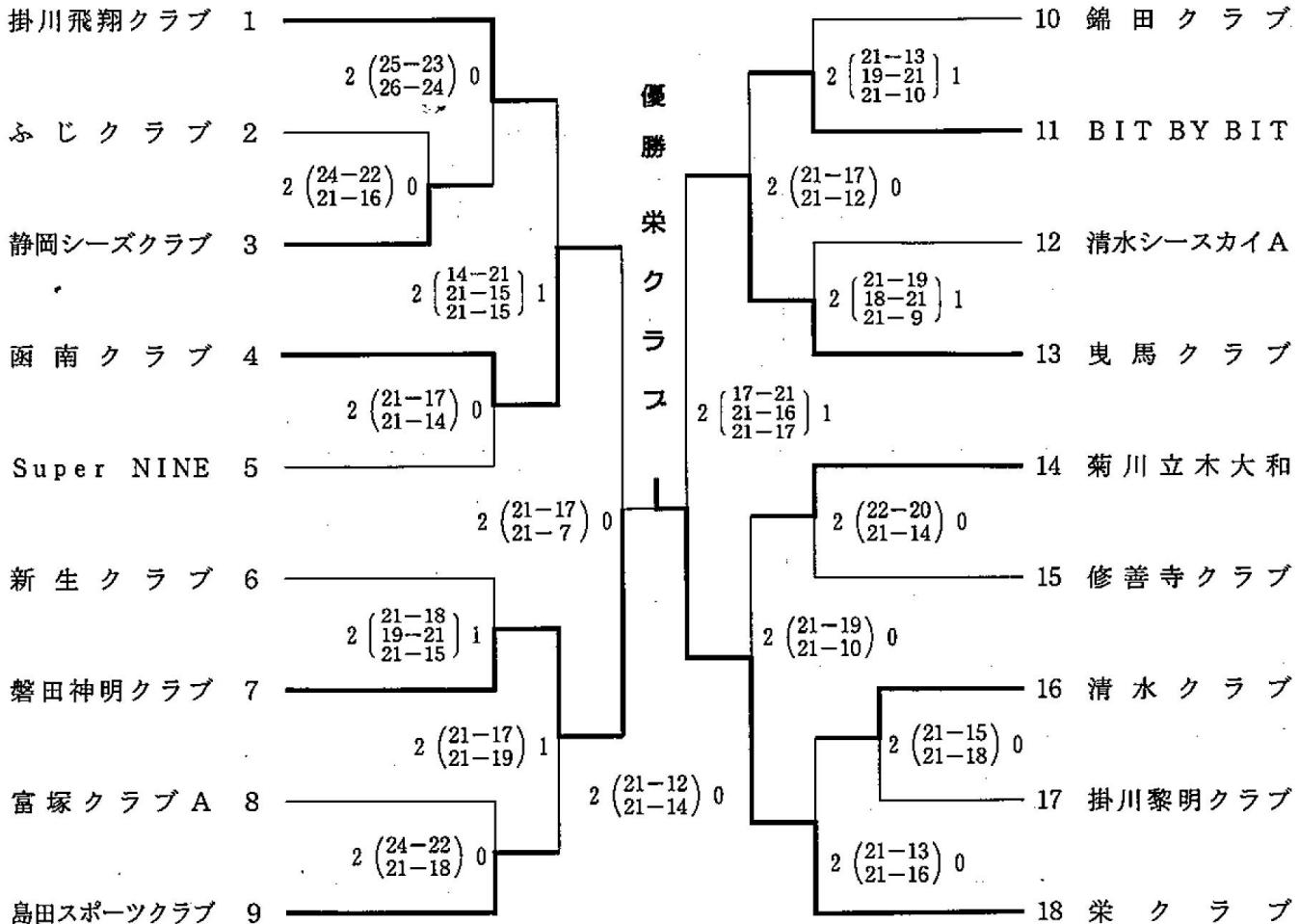
静岡コシヒカリ杯争奪

第26回静岡県家庭婦人バレー選手権大会

期日 平成2年11月5日

会場

草薙体育馆



準優勝 磐田神明クラブ

第3位 曙馬クラブ

第3位 函南クラブ

コシヒカリ杯
全員バレーでの優勝!

栄クラブ 村松 笑佳

故障者が続出するなかで、優勝できた事は一人ひとりが、自分たちの役割を把握し、前向きに練習に励んできた結果だと思います。

今度も、これに満足することなく、更なるレベルアップを目指し、チーム一丸となつてがんばります。

第26回全国家庭婦人バレー選手権大会

全国大会に参加して

球趣会シニアA主将 勝見 博子

全国いそじ大会に県代表として出場するため寒い寒い本土をあとにして、守礼の邦、南国沖縄に降り立つた第一声は「あつたかうい」でした。暖かさは気候ばかりではなく、手作りの開会式、交流会、大会運営と、どれをとっても行き届いたもので、感激するばかりでした。

全国56チームが出場した今大会は非常にレベルが高く、私たちも優勝を目指し精一杯プレーをしたのですが、リーグ2位で決勝トーナメントには進めず、すごく悔しかったです。でも全国各地のバレーを愛する仲間達と交流できたことは何物にも代えられない宝物となりました。

役員の皆様をはじめ、多くの皆様のご声援に感謝の気持ちでいっぱいです。

球趣会シニアA(静岡) 0
1821 211621
2123 192115
— 2 —
球趣会シニアA(静岡) 2
— 1 —
晴嵐クラブ(滋賀)
花菖蒲愛好会(長崎)